

農業振興部 公共事業評価シート

No	『西山2期』 - 1		
事業名	農村地域防災減災事業	地区名	西山2期 市町村名 室戸市
事業期間	平成26～30年度	事業主体	高知県
総事業費	300,000千円	負担割合	国:55% 県:35% 市:10% 地元:0%

◇事業概要（目的及び内容の説明）

①対象者（受益者）

工区名	工種名	かんがい面積	受益戸数
新畑2号池	ため池	4.8 ha	23 戸
黒茂谷池	ため池	5.0 ha	14 戸
甚太ヶ鼻池	ため池	0.7 ha	7 戸
計		10.5 ha	30 戸

※受益者は新畑2号池と重複

②目的

老朽化が進行し、基準値（堤長100m当り 60ℓ/min）を超える漏水や、堤体・洪水吐に変状が見られる3箇所のため池（新畑2号池、黒茂谷池、甚太ヶ鼻池）について、本事業により全体的な改修を行い集中豪雨や地震等による決壊を防止することで、ため池下流の人家や国道等の公共施設を決壊被害から守るとともに、地域農業の持続的発展を図る。

③内容（整備手法）

工区名	事業量	事業内容	事業費(千円)	備考
新畑2号池	1箇所	堤高9.5m 堤長38.0m 取水施設 1式 底樋管 L=40.5m 洪水吐 B=3.4m L=32.6m 緊急放流孔φ150	90,000	貯水量4,100t
黒茂谷池	1箇所	堤高11.9m 堤長38.0m 取水施設 1式 底樋管 L=61.3m 洪水吐 B=5.1m L=51.8m 緊急放流孔φ200	110,000	貯水量11,200t
甚太ヶ鼻池	1箇所	堤高9.6m 堤長35.0m 取水施設 1式 底樋管 L=39.9m 洪水吐 B=3.6m L=34.2m 緊急放流孔φ150	100,000	貯水量5,800t
計	3箇所		300,000	

◇対象者とそのニーズ

①現状と課題

○現状

室戸市の西山台地には38箇所のため池があり、うち5所が改修済みである。残る33箇所はいずれも江戸時代に築造されたと推定される老朽ため池で、部分改修（上流側の張コンクリートや洪水吐の三面張りなど）されたため池もあるが、堤体そのものの改修（改築）は行われていない。

ため池は海岸段丘の上であり、万が一決壊した場合には、海岸沿いの集落や国道を直撃することが懸念されている。

○課題

いずれのため池も老朽化が進行している中で、ため池の改修には多額の費用と工事期間が必要なため、一度に改修するのは困難である。老朽具合の現況調査を実施し、地元・市と協議しながら優先順位を付けて着実に改修していく必要がある。

②解決方法

- ・平成22年度にソフト事業を導入して33池の現況調査を行い、優先順位の高い3池（中尾上池、長野2号池、悪坂池）について、平成24年度からハード事業を導入し改修工事に着手した。
- ・今回申請する3池（新畑2号池、黒茂谷池、甚太ヶ鼻池）は、平成28年度新規を予定していた地区であるが、地元・市からの強い要望を受けて2年前倒したため池改修を加速化する。
- ・残る27箇所のため池においても、毎年実施している防災点検の結果を受け、漏水量の増加など危険性が高いと判断される場合には、事業化を検討していく。

③未対策の場合の影響

- ・今回申請箇所の想定被害

住居	農地		農業用施設	公共施設等	
	田	畑	水路・農道	道路	施設他
85戸	1.8	—	1,310m	2,039m	1

- ・西山台地は、甘藷、ポンカン、なす、千両などの栽培が盛んな農業地帯であるが、地区の営農はため池からの用水に依存しており、被災した場合にはかんがい用水が途絶える。

◇整備手法の選択理由

①これまでの対策

- ・西山台地には、農地・水保全管理支払交付金（共同活動支援交付金）の交付を受ける活動組織が4組織（磯原・長野・西地太田・はげ山）あり、ため池も含めて保全活動の対象としており、地域住民が共同で草刈りや軽微な補修を実施している。
- ・また、草刈り後には、年に1回「ため池防災点検の手引き（H24年3月 農業基盤課）」に基づく防災点検を実施して異常の早期発見に努めている。

②ニーズへの適合性

- ・今回申請する3池は、地域からの強い要望に基づいて前倒し実施する改修工事であり、地域ニーズに適合している。

③他の整備手法との比較

検討項目	当該整備手法	他の整備手法
用水の確保	【ため池改修】 既存ため池を改修することにより、安定した用水量を確保する。	【ため池に代わる代替水源】 既存ため池を廃止し、用水量確保のため地区内外に集水井戸を設けて揚水する手法。 取水位置は羽根川か西ノ川周辺が考えられるが、受益地との高低差が50m以上になることや水利調整の困難が予想される。
判定	○	×

◇事業の全体コストの把握

①総投資額に対する費用対効果

工区名	総費用 (C)	総便益 (B)	総費用総便益比 (B/C)
新畑2号池	91,797 千円	324,705 千円	3.53
黒茂谷池	107,036 千円	366,035 千円	3.41
甚太ヶ鼻池	95,512 千円	109,754 千円	1.14
計	294,345 千円	800,494 千円	2.71

○総費用… 当該事業費及び事業完了後40年間における施設の再整備費から残存価値を差し引いて現在価値化した費用を算定

○総便益… 「事業なかりせば（施設機能が喪失した場合）」を想定し、農業関係資産、家屋及び公共資産の被害が防止又は軽減される効果を算定

②関係機関の負担額及び受益者負担額の妥当性

	負担率	負担金額
国	55%	165,000 千円
県	35%	105,000 千円
市	10%	30,000 千円
合計	100%	300,000 千円

○ 受益者負担なし

○ 市の負担については了解済み（市長が県へ前倒し要望）

◇目標水準

目標	ため池改修を加速化することによって、海岸沿いの集落や国道等の公共施設への被災リスクを低減するとともに、西山台地のかんがい用水を安定的に確保することにより地域農業の持続的発展を図る。
現状	地域の主水源であるため池の老朽化が進行し、ため池の決壊リスクが高まっている。

◇その他（必要な法令上の許認可手続き（地元の同意状況含む）の状況）

○ 地元は同意は十分に取れる見込み（地元同意率 100%見込み）

⇒ 平成25年度中に土地改良法手続き完了見込み